自らまなび　心豊かに
たくましく生きる
江北の子を育てます

江北小だより

～幸せいっぱいの学校をめざして～　　校長だより第１４号

令和３年１月１３日（水）　江北小学校校長　篠原　一彦

希望と期待感あふれる年に！
２０２１年がスタートしました

３学期は一面の雪の中でのスタートとなりました。昨年はコロナ禍の１年となり、学校生活もいつもの年とは大きく変わりましたが、今年こそは子ども達にとって希望と期待感の溢れる年になってくれたらと願っております。

保護者の皆様には冬休み中しっかりと子ども達の健康管理をしていただき、おかげで子ども達も元気に３学期の初日を迎えることができました。御礼申し上げます。

年頭に当たり、始業式では次のような話をしました。

○　今年はうし年です。うしの歩みのように、一歩一歩着実に前に進み、力をつけていきましょう。

○　昔から「１月は行く月、２月は逃げる月、３月は去る月」と言われるように３学期は短く、あっという間に過ぎていきます。特に６年生にとっては卒業までの日々が早く感じられます。１日１日を、１時間１時間を大切にしていきましょう。

○　「１年の計は元旦にあり」という言葉もあります。新年の初日に「頑張れば手が届きそうなこと、続けてみたいと思うこと」など、自分なりの目標を立てましょう。

○　３学期の大きな行事は「風の子マラソン」「６年生ありがとう集会」「卒業式」の３つです。一人一人が持てる力を発揮し、協力して良い思い出を作りましょう。

○　校庭の桜の木の枝には、もう春を目指してつぼみがついています。４月からはみんなも学年が一つずつ上がります。春に向けて、心の準備をしていきましょう。

今回の始業式も電子黒板を使ってのリモートによる始業式となりましたが、教室をまわってみますと話を聞く子ども達の表情はどの子も真剣で、瞳はキラキラと希望が感じられ、とても期待のもてる姿ばかりでした。

コロナ禍の中での３学期ですので、卒業式をはじめ全ての教育活動は安全・健康を第一に考えて実施の計画をしていきます。今学期も保護者・ご家族の皆様、地域の皆様には多くのお世話をおかけすることと思いますがご支援・ご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

安全に気をつけて登校を

１月１５日前後は１年で最も日の出が遅い時期です。車も７時頃までライトを点灯して走っています。まだ薄暗い中に登校する時は、足元の様子や車にくれ

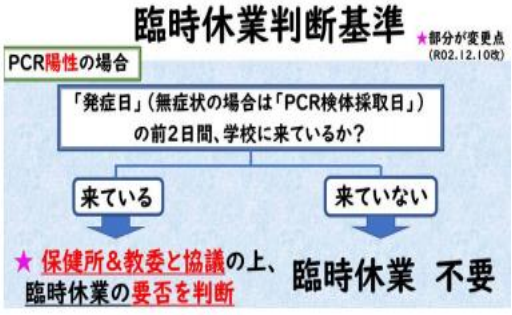
保体部の皆様、素敵なプレゼントを
有難うございました！

１２月２６日（土）、保体部の皆様による奉仕活動が行われました。「子ども達の健康と安全のために、できることを」とのお申し入れをいただき、①運動場と体育館の体育倉庫の清掃と消毒　②側溝の泥上げをしてくださいました。特に側溝の泥上げは約２年ぶりに行われたためかなりの量の土砂が堆積していましたが、お父さん、お母さん方の元気と笑顔あふれるパワーにより、見違えるほどきれいにしていただきました。体育倉庫もふだんはなかなか手の届かないところをきれいにしていただいた上に、大型の道具を使いやすい位置に動かしていただき、大変助かりました。クリスマス後の「素敵なプレゼント」をいただきました。保体部の皆様、本当に有難うございました。

新型コロナウイルスの対応について

新型コロナウイルス感染拡大が続いており、佐賀県も予断を許さない状況です。感染経路も変化し、職場内感染や家庭内感染が増加しています。これからの時期は例年であればインフルエンザの流行が始まる時期でもあり、これまでと同様に感染防止対策を取りながら気をつけるしかありません。前にもお願いしましたが、児童や保護者様が「感染の疑い」もしくは「濃厚接触の疑い」でＰＣＲ検査を受ける状況になった時は、必ず学校または教育委員会へご連絡をお願いします。また検査結果が出るまではお子さんの登校自粛をお願いします（出席停止扱いとなります）。

最新の「佐賀県の臨時休業判断基準」では、児童が陽性になった場合に臨時休業の判断をするようになっていますが、発症前の２日間、登校していなければ臨時休業は行いません。来ていればまずは学級閉鎖、そして学年・学校閉鎖の必要性を判断するようになっています。閉鎖期間も当初は２週間が目安でしたが現在は２～４日ほどと短くなっています。これは児童間の感染例が少ないことによ



ぐれも気をつけるよう、お声かけをお願いします。

るものです。　「佐賀県の臨時休業判断基準」より

新型コロナウイルスＱ＆Ａ

緊急事態宣言が行われる都府県も出てきていよいよ警戒しなければならない新型コロナウイルス感染症ですが、厚生労働省のホームページ等からあらためて基本事項を抜粋してみました。

Ｑ１．新型コロナウイルス感染症になるとどんな症状が出ますか？

Ａ　発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（１週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える人が多いことも特徴です。また食べ物の味がわからなくなったり（味覚障害）、においを感じなくなったり（嗅覚障害）する人もいます。感染から発症までの潜伏期間は１日から12日（多くは５～６日）と言われています。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意が必要です。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性があり注意が必要です。

Ｑ２．　濃厚接触者とはどのような人でしょうか。濃厚接触者となった場合は、どんなことに注意すればよいでしょうか。

Ａ　濃厚接触者は、新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、あるいは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は、１．距離の近さ　２．時間の長さです。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（１ｍ程度以内）で 15 分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

新型コロナウイルス感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間（発症２日前から入院等をした日まで）に接触のあった人について、関係性、接触の程度などについて、保健所が調査（積極的疫学調査）を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうか判断します。濃厚接触者と判断された場合は、保健所の指示に従ってください。

濃厚接触者は、感染している可能性があることから、感染した方と接触した後 14 日間は、健康状態に注意を払い（健康観察）、不要不急の外出は控えてください。

Ｑ３．ＰＣＲ検査とはどんな検査ですか？

Ａ　検査したいウイルスの遺伝子を専用の薬液を用いて増幅させ検出させる検査方法です。鼻や咽頭をぬぐって細胞を採取し、検査を行います。感染してから発症する数日前より検出可能とされています。主に体内にウイルスが検査時点で存在するかを調べるときに用います。

Ｑ４．病院を受診したい場合や検査を受けたいはどうしたらよいですか？

→　まず「かかりつけ医」がある場合は電話で相談してください。かかりつけ医で受診・検査できる場合は病院で受診をされてください。かかりつけ医で受診・検査できない場合や、そもそもかかりつけ医がいない場合は、地域の「受診・相談センター」に電話で診療・検査の相談をしてください。受診・検査できる診療・検査医療機関が案内されます。

【佐賀県の新型コロナウイルス感染症受診・相談センター電話相談の窓口】

〇発熱などの症状がある場合→☎０９５４（６９）１１０２

〇その他の一般相談の場合　→☎０９５４（６９）１１０３

※年中無休、午前８時半～午後８時受付

【受診する際の注意事項】
① 受診前に必ず病院に電話で相談し、来院する時間を決定してもらってください。
② 来院時間を守り、マスクをして来院してください。
③ 来院の際はできるだけ公共交通機関（電車・バス）以外を利用してください。